

『杉戸町消防団第三分団小屋』 施設概要レポート



名称板 神川町より寄贈

彫刻 日本工業大学建築学部野口憲治助教の協力により制作

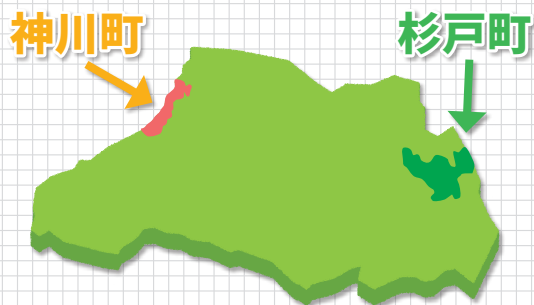


杉戸宿をイメージした外観

木造2階建て
1階
車庫・資機材置場
2階
団員詰所
敷地面積 140.06㎡
延べ面積 79.48㎡

建物に使用している構造材は杉戸町と相互交流協定を締結する神川町の木材を主に使用（埼玉県中央部森林組合協力）

杉戸町 × 神川町



神川町に広がる山々



神川町の山林から、1本1本丁寧に切り出され、木材として出荷されています。消防団小屋の構造材として利用されました。



杉戸町・神川町交流の森（神川町内）

神川町のみどころ

城峯公園（神川町矢納1277）

首都圏自然歩道「関東ふれあいの道」のコースにも指定され、眼下に下久保ダム（神流湖）を有し、公園内に約600本植えられている「冬桜」は、10月下旬から12月上旬にかけて咲く珍しい桜です。



（冬桜と紅葉）

問合せ 神川町観光協会（経済観光課内）
☎0495（77）0703



『杉戸町消防団 第三分団小屋』完成 ～住民の安心安全を守る消防団～



防火服を着た「すぎぴょん」が描かれたシャッターの中には第三分団の消防車両と様々な資機材が収まっています。



旧杉戸小学校跡地活用事業の実施に伴い、「杉戸町消防団第三分団小屋」が移転となり、新たな施設として完成しました。
平時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安心安全のため活動する消防団の活動拠点となります。
10月1日（土）に、「杉戸町消防団第三分団小屋引渡し式」が行われました。



窪田町長から金久保消防団長に第三分団小屋の鍵が渡されました。

消防団についての問合せ 危機管理課 消防・防災担当 内線288
施設の建設についての問合せ 建築課 営繕担当 内線344